

2010年度

|   |   |     |       |
|---|---|-----|-------|
| 科目名   | 尺度構成法   |     |       |
| 担当教員  | 井上 徹  |     |       |
| 配当  | 人社3   | コード | 24610 |
| 開期  | 前期  | 講時  | 火曜日4限 |
|   |   | 単位数 | 2     |
| 授業テーマ   | 心理尺度のつくり方を学ぶ  |     |       |
| 目的と概要   | 尺度項目の作成、予備調査の結果分析を通して、尺度構成の方法と手順を、理解することを目的とします。尺度構成の3つの代表的な方法を、統計パッケージによる統計分析を交えて、経験し理解していきます。まずそれぞれの方法における留意点を解説し、受講生自らが項目を作成し、予備的な調査を行います。予備調査のデータを、統計パッケージを用いていろいろな分析にかけ、各自が作成した尺度項目の信頼性、妥当性を考察します。 |     |       |
| 成績評価法   | 各課題についてのレポート(70%) + 授業中のミニレポート(30%)   |     |       |
| テキスト  | 特に定めません。授業中にプリントを配布します。   |     |       |
| 参考書   | 心理学実験指導研究会編 実験とテスト＝心理学の基礎(実習編) 培風館 1985   |     |       |
| 履修に当たっての注意・助言   | 欠席するとやっていることが分からなくなる。欠席しないように。  |     |       |
| 講義計画  |   |     |       |
| 1. 尺度構成についての基本的考え方<br>2. 尺度の信頼性と妥当性<br>3. サーストン法 (1) サーストン法の解説と項目作成<br>4. サーストン法 (2) 調査実施、コーディング<br>5. サーストン法 (3) 項目の精選と尺度値の設定<br>6. サーストン法 (4) 因子分析による因子的妥当性<br>7. リッカート法 (1) リッカート法の解説と項目の作成<br>8. リッカート法 (2) 調査実施、コーディング<br>9. リッカート法 (3) 項目分析1ーG P分析<br>10. リッカート法 (4) 項目分析2ー因子分析<br>11. ガットマン法 (1) ガットマン法の解説と項目作成<br>12. ガットマン法 (2) 調査実施、コーディング<br>13. ガットマン法 (3) S P表を用いた結果分析<br>14. ガットマン法 (4) 尺度項目の内的整合性<br>15. 尺度構成法についてのまとめ |   |     |       |